

明治三十三年八月五日
第二種郵便物認可（毎月四日十四日廿四日三回發行）

縣報

第五十五號

明治卅四年十月十四日

和歌山縣

縣令

○和歌山縣令第六十六號

明治三十四年九月本縣令第五十八號炭疽熱豫防區域中へ左ノ通追加ス
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十四年十月二日

一 那賀郡池田村大字豊田一圓

和歌山縣知事

椿 泰一郎

縣報第五十五號

明治三十四年十月十四日

第三種郵便物認可

二

（Faint, illegible text within the main frame, possibly bleed-through or a very faded document.)

○和歌山縣令第六十八號

明治三十四年四月本縣令第三十一號ハ本日限リ廢止ス

明治三十四年十月十日

和歌山縣知事

椿 兼一郎

和歌山縣令第六十八號參照

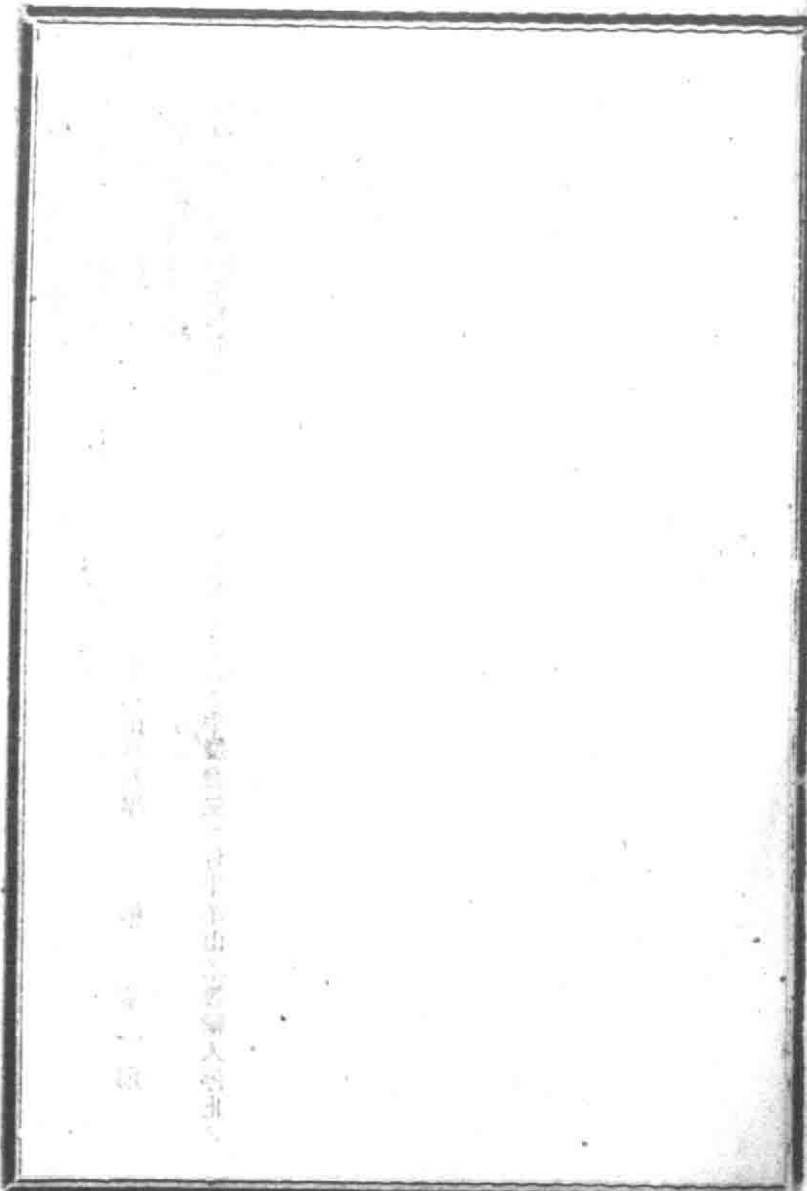
明治三十四年四月本縣令第三十一號ハ東京府下ニ於テ牛疫發生ニ付牛羊山羊等輸入停止ノ件

縣報第五十五號

明治三十四年十月十四日

第三種郵便物認可

四



○訓令

○和歌山縣訓令甲第六十號

郡 役 所
市 役 所

道府縣ニ於テ地方稅府縣稅及使用料手数料夫役現品ニ代ユル金錢過料其ノ他道府縣收入ノ
滯納處分囑托ニ關スル件本年九內務省令第二十六號ヲ以テ改正セラレ候處道府縣ニ係ル處
分方ハ從前ト異ナラサルニ付該處分方ハ仍ホ明治三十三年五月訓令甲第五十六號ニ據リ取扱
ヘシ

明治三十四年十月七日

和歌山縣知事

椿 素一郎

（一）

（二）

（三）

（四）

（五）

（六）

○告示

○和歌山縣告示第二百八號

兵庫縣下ニ於テ流行性噎口瘡ニ罹リタルモノ並ニ全治及斃死セシモノ左記ノ通り通知アリ
タリ

明治三十四年十月一日

和歌山縣知事

椿 泰一郎

九月十四日

神戸市葺合町

全治牛

二十五頭

全 荒田町

全

二頭

武庫郡西灘村

全

七頭

九月十五日

神戸市葺合町

全治牛

九頭

九月十六日

全 上

全上

十三頭

斃猪

一頭

九月十七日

全 上

發病牛

一頭

斃牛

一頭

○和歌山縣告示第二百九號

縣下那賀郡池田村大字豊田佐野留三郎飼牛一頭炭疽ニ罹リ本月一日斃死セリ

明治三十四年十月二日

和歌山縣知事

椿 泰一郎

○和歌山縣告示第二百十號

縣下海草郡野崎村大字北島寺田重兵衛飼牛一頭炭疽ニ罹リ本月二日斃死セリ

明治三十四年十月三日

和歌山縣知事

椿 泰一郎

○和歌山縣告示第二百十一號

大坂砲兵工廠ニ於テ來ル十月十一日ヨリ雨天順延向テ四日間由良要塞友ケ島及生石砲臺備砲試驗射撃ヲ海上ニ向ケ施行セラル就テハ危險ノ虞ナキ様注意スヘシ

但實射ヲ始ムルニ先キ號砲ヲ發射シ且砲臺ノ近傍望見シ易キ地點ニ赤旗ヲ樹立セラル

明治三十四年十月四日

和歌山縣知事

椿 莚一 郎

○和歌山縣告示第二百十二號

明治三十一年內務省令第六號ニ依ル寄附金又ハ負債募集ニ關シ左ノ縣令發布ノ旨鳥取縣ヨリ通知アリタリ

明治三十四年十月五日

和歌山縣知事

椿 莚一 郎

鳥取縣令第二十六號

明治三十一年內務省令第六號取扱手續左ノ通定ム但シ全年七月鳥取縣令第三十三號ハ廢止ス
明治三十四年九月二十二日

第一條 省令ノ規定ニ依リ當廳又ハ當廳ヲ經テ內務大臣ニ差出ス願書ハ所轄警察官署ヲ經

由スヘシ

第二條 省令第二條ニ依ル願書ニハ左ノ事項ヲ詳記スヘシ

一 觀覽ニ供スル物件ノ名稱負數由緒

二 觀覽ノ場所及其ノ取締方法

三 觀覽ノ期間

四 觀覽料ノ金額

五 觀覽料徵收ノ目的

六 取締人及關係人ノ族籍住所氏名年齢

第三條 省令第三條第四條ニ依ル寄附金又ハ負債募集ノ願書ニハ同令第五條ニ掲タルモノ

、外尙左ノ事項ヲ詳記スヘシ

一 族籍 住所 氏名 年齢

二 募集金支出豫算

三 募集金ヲ工事ノ費用ニ充ツルモノハ其ノ工事設計ノ概要及圖面

四 募集金管理ノ方法

五 募集ニ關シ使用スル印章アラハ其ノ印鑑

六 募集員ニ証票付與スルモノアラハ其ノ寫

第四條 前二條ニ掲タル事項ヲ變更シ若ハ中止セントスルモノハ當廳ニ願出ツヘシ

第五條 省令第三條二項ニ依リ當廳ヲ經由セスシテ内務大臣ノ許可ヲ受ケ本縣下ニ涉リ寄

附金又ハ負債ノ募集ヲ爲スモノハ其ノ着手前願書及指令寫ヲ添ヘ當廳ヘ届出ツヘシ其ノ

募集事項變更ノ許可ヲ受ケタルトキモ亦同シ

第六條 省令第七條ニ依リ出願セントスルトキハ其事項ノ外尙其ノ願書ニ寄附金又ハ負債

募集願書並指令寫ヲ添付スヘシ但シ當廳又ハ當廳ヲ經由シテ許可ヲ受ケタルモノハ此ノ

限リニ在ラス

第七條 寄附金又ハ負債募集ニ從事スルモノハ其願書寫及指令書ヲ携帶スヘシ

數ヶ所ニ於テ同時ニ募集スルトキハ前項ノ指令書ハ贖本ヲ以テ代用スルコトヲ得其ノ贖

本ハ正本ニ依リ謄寫シタル旨ヲ附記シ許可又ハ認可書ヲ受ケタルモノ署名捺印スヘシ

附 則

第八條 第五條ニ依リ届出ヲ要スルモノ本令施行前既ニ許可ヲ受ケタルモノハ此際速ニ届出ヘシ

○和歌山縣告示第二百十四號

左記ノ者本日頭書ノ番號ヲ以テ和歌山縣產婆名簿ニ登錄ス

明治三十四年十月十日

和歌山縣知事 椿 藁一郎

海草郡紀三井寺村大字紀三井寺千四十番地
和歌山縣平民

第四八〇號

○和歌山縣告示第二百十五號

本月五日和歌山市選出縣會議員補缺選舉ヲ執行候處其當選者住所氏名ハ左ノ如シ

明治三十四年十月十日

和歌山縣知事 椿 藁一郎

和歌山市北ノ新地東ノ丁六番地

○和歌山縣告示第二百十六號

若 尾 保

本月十五日大風及雨 由長陸軍兵器支廠ハ由長要塞生石山砲臺ヨリ紀州方面ニ向ヒ海岸砲臺
天順延 彈射擊施行セラル但シ本試驗ニ於テ砲彈ノ落下散布スヘキ區域ハ生石砲台ヲ起點トシ友ケ
島燈臺ヲ中心ニ前方約一萬米突トシ左右(南北)各三哩ニ擴開シタル扇形内ニシテ此範圍内
ハ全ク危險界ナルヲ以テ其ノ旨注意スヘシ

但シ右ノ射擊ハ目下執行シツ、有ルモノト格別ニシテ使用彈丸モ猛烈ナル破裂彈ナレハ
特ニ注意スヘシ

明治三十四年十月十日

和歌山縣知事

椿

蒸一郎

○告 諭

○和歌山縣告諭第六號

身ヲ立テ家ヲ興シテ以テ子孫長久ノ幸福ヲ圖ラムトセハ則放逸怠惰ノ習ヲ去リテ勞苦業務
ニ勤メ浮華虛飾ヲ誡メテ節約蓄積ヲ重ンヌルニ在リ故ニ善良ナル國民ハ平素相替メテ是ニ
注意スヘキハ特ニ更メテ諭告スルヲ須タス然レモ人情鬼角一時ノ安逸ヲ貪リ目前ノ嗜欲ニ
制セラレ永遠ノ計圖ヲ忽諾ニ附スルヲ免レス彼ノ二十七八年戰勝ノ餘勢ニ乘シテ種ノ事業
一時ニ物興シ一ハ輸入超過ノ損ヲ蒙ムリ一ハ奢侈贅澤ノ弊ニ流レ其極財界不振ノ否運ニ陷
リシ如キハ甚タ遺憾ノ事ニアリシナリ幸ニ本年ハ氣候適順ニシテ風蝗水旱ノ害少ナク農
作物豐穰ニシテ幾多ノ增收ヲ得ントス加之金融漸ク緩ミ商工ノ業稍振起ノ兆アリ此時ニ方
リ大ニ節儉蓄積ノ良習ヲ煥起シ家族互ニ相誠メ一郷共ニ相勵ミ以テ家ヲ興シ國ヲ富マヌノ

根基ヲ樹立スヘシ苟モ因循仍ホ前轍ヲ改メス偶々年ノ豊穰ニ遇ヒ忽チ緊肅節約ノ意ヲ弛メ奢逸遊樂無用ノ失費ヲナスノミナラス時ニ或ハ常習トナリ遂ニ子弟ヲ率テ遊惰ノ風習ニ染クカ如キコトアル可ラス依テ茲ニ豫メ注意ヲ促サントス、

試ニ別表示ス所ノ一日一錢ノ貯蓄ニ基ク縣富ノ計算ヲ見ヨ一厘一錢ノ微ナリト雖トモ決シテ輕忽ニ費消スヘカラサルヲ知ルヘシ各人深ク此ニ留意シ相共ニ勤勉以テ生産ニ従ヒ驕奢逸樂ヲ誡メ苟モ冗費ノ節スヘキモノアラハ須ラク之ヲ貯蓄シテ以テ一身一家將來ノ幸福ヲ圖リ併セテ縣下ノ富力ヲ増進シ國家ノ進運ヲ扶植センコトヲ努ムヘシ

明治三十四年十月九日

和歌山縣知事 椿 素一郎

(別表)

縣民一錢ノ蓄積ニ基ク縣富ノ計算

六拾七萬(三十二年末)ノ縣民一日一錢ノ蓄積ヲ爲ストセハ

年次	元	金	利	子	累	計
初年	二、四四五、五〇〇					二、四四五、五〇〇
次年	二、四四五、五〇〇					五、〇一三、二七五

三	年	二、四四五、五〇〇	二五〇、六六四	七、七〇九、四三九
四	年	二、四四五、五〇〇	三八五、四七二	一〇、五四〇、四一一
五	年	二、四四五、五〇〇	五二七、〇二一	一三、五一二、九三二
六	年	二、四四五、五〇〇	六七五、六四七	一六、六三四、〇七九
七	年	二、四四五、五〇〇	八三一、七〇四	一九、九一一、二八三
八	年	二、四四五、五〇〇	九九五、五六四	二二、三五二、三四七
九	年	二、四四五、五〇〇	一、一六七、六一七	二六、九六五、四六四
十	年	二、四四五、五〇〇	一、三四八、二七三	三〇、七五九、二三七
計		二四、四五五、〇〇〇	六、三〇四、二三七	

備考 利子ハ年五朱トシ預人ノ翌年ヨリ計算シ次年ノ元金ニ繰入ル

本表ノ如ク元利金ヲ累計スルトキハ三千〇七拾五万九千二百三十七圓トナル之ヲ据置キ年五朱ノ利息ヲ付スルトキハ毎年ノ收入

百五拾三萬七千九百六拾壹圓八拾五錢

ニシテ此利子ヲ以テ本縣稅及市町村費ニ充ツルモノトセハ最近ノ總額縣稅五十七万九千九

縣報第五十五號

明治三十四年十月十四日

第三種郵便物認可

十四終

百六圓十八錢九厘市町村費精算額五十七万三千八百十七圓四十九錢合計百拾五万三千七百二十三圓六十七錢九厘ヲ支辨シ尙三十八万四千二百三十八圓十七錢壹厘ノ剩餘ヲ生ス豈驚クヘキ金額ナラスヤ勸諭ノ忽諾ニ付ヌヘカラサル恠ニ故アルナリ

(明治三十三年
五月八日第三種郵便物認可)